

平成31年2月27日(水)

国立大学編入について

福島高等専門学校に入学する特典は、大学の3年に編入することができ、東大をはじめとする難関国立大学に進学しているという情報をご存知ですか。これは間違いのない事実です。高専から難関国立大学へ編入している生徒はかなりの数に上ります。

しかし、編入できるのは高専だけなのでしょうか。いや、違います。短大卒業見込みの生徒も、他の学校の2学年終了の生徒も、編入試験は受けられるのです。

私の通った大学においても、短大から編入してくる生徒は毎年少なからずおりました。短大での単位取得と編入試験対策で、とても大変な学習を繰り返しながら、志高く編入した後も、大学院入学に向けて学習している人がたくさんいたのを思い出します。

翻って、志あれば、学びたい学生に対して大学は門戸を大きく開いているのです。私立大学卒業後も、国立大学の大学院の試験は受けられますし、研究室で認められれば、そのあとの進路もおのずと開けるのです。

大学に入ればそれで終わりという時代はありません。

つまり、今の努力は、いつの日か、必ず大きく実を結ぶはずです。目の前のことに一喜一憂することなく、学びの原点を忘れず、社会にどのように帰属しどのように貢献できるかを目途に進んでいただきたいと思います。

企業戦士として、世界に飛び立つ日々もあるでしょう。地域のかなめとして、隣近所のおじさんとして生きていく時期もあるでしょう。大事なことをきちんと守り、大切な人に寄り添いながら過ごす日々もあるでしょう。

どこにどう生きるようになったとしても、学ぼうとする気持ちは持ち続け、いつでも興味関心と粹な心を失わない人物になってほしいと心から思います。

本校の放送委員会の生徒諸君は、放送室に貼られた「凡事徹底」の字を毎日眺めながら、コンテストの作品を作り続けています。

私も、「凡事徹底」を徹底します。生徒諸君、前を向いて進んでください。